

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
東吉野村	中黒地区	2021年11月2日	-

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	7.7ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	4.4ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	3.3ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	2.2ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0ha
(備考)	

2 対象地区の課題

中心経営体がないため、後継者がいないと回答された2.2haについて、新たな農地の受け手の確保が必要。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

中心経営体がないため、集落が一体となって農地を守っていく。

所有する農地を貸す意向がある方については、農地中間管理事業などを使って、農地の集約化や、農地バンクへの登録を行い、新たな耕作者を見つけていく。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

農地の貸付の意向

貸したい意向のある方はアンケート解答者10名の内、1名。農地を機構に貸付けるなどして農地の有効活用を検討していく。

鳥獣害対策

イノシシ・シカ・その他小動物等からの被害防止のため、村の「猪・鹿被害防除柵設置事業補助金」や檻の貸し出しなどを利用し、農作物を鳥獣害から守る。

遊休農地対策

村の柚子苗配布事業を活用し、現在耕作していない農地に柚子を植えることで、農地の活用をする。